

# 平成31年 厄年・年祝・星厄等 一覧表

西野神社

下記表中に生年が載っていない方は、本年については、どの厄にも年祝にも当たっておりません

生年		年齢 (数え年)	厄年		人生儀礼・年祝		八方・星厄 (男女共通)
元号	西暦		男性	女性	男性	女性	
平成31	2019	1			初宮詣		八方(八白土星)
平成29	2017	3			七五三		
平成28	2016	4					星厄(二黒土星)
平成27	2015	5			七五三		
平成26	2014	6					星厄(四緑木星)
平成25	2013	7			七五三		星厄(五黄土星)
平成22	2010	10					八方(八白土星)
平成19	2007	13	年男	年女	十三詣		星厄(二黒土星)
平成17	2005	15					星厄(四緑木星)
平成16	2004	16					星厄(五黄土星)
平成14	2002	18		前厄			
平成13	2001	19		本厄			八方(八白土星)
平成12	2000	20		後厄			
平成10	1998	22					星厄(二黒土星)
平成8	1996	24	前厄				星厄(四緑木星)
平成7	1995	25	本厄	年男	年女		星厄(五黄土星)
平成6	1994	26	後厄				
平成4	1992	28					八方(八白土星)
昭和64・平成元	1989	31					星厄(二黒土星)
昭和63	1988	32		前厄			
昭和62	1987	33		本厄(大厄)			星厄(四緑木星)
昭和61	1986	34		後厄			星厄(五黄土星)
昭和59	1984	36		前厄			
昭和58	1983	37	年男	本厄	年女		八方(八白土星)
昭和57	1982	38		後厄			
昭和55	1980	40					星厄(二黒土星)
昭和54	1979	41	前厄				
昭和53	1978	42	本厄(大厄)				星厄(四緑木星)
昭和52	1977	43	後厄				星厄(五黄土星)
昭和49	1974	46					八方(八白土星)
昭和46	1971	49	年男	年女			星厄(二黒土星)
昭和44	1969	51					星厄(四緑木星)
昭和43	1968	52					星厄(五黄土星)
昭和40	1965	55					八方(八白土星)
昭和37	1962	58					星厄(二黒土星)
昭和35	1960	60	前厄				星厄(四緑木星)
昭和34	1959	61	本厄	年男	年女	還暦	星厄(五黄土星)
昭和33	1958	62	後厄				
昭和31	1956	64					八方(八白土星)
昭和28	1953	67					星厄(二黒土星)
昭和26	1951	69					星厄(四緑木星)
昭和25	1950	70			古希		星厄(五黄土星)
昭和22	1947	73	年男	年女			八方(八白土星)
昭和19	1944	76					星厄(二黒土星)
昭和18	1943	77			喜寿		
昭和17	1942	78					星厄(四緑木星)
昭和16	1941	79					星厄(五黄土星)
昭和15	1940	80			傘寿		
昭和14	1939	81			半寿(盤寿)		八方(八白土星)
昭和10	1935	85	年男	年女			星厄(二黒土星)
昭和8	1933	87					星厄(四緑木星)
昭和7	1932	88			米寿		星厄(五黄土星)
昭和5	1930	90			卒寿		
昭和4	1929	91					八方(八白土星)
大正15・昭和元	1926	94					星厄(二黒土星)
大正13	1924	96					星厄(四緑木星)
大正12	1923	97	年男	年女			星厄(五黄土星)
大正10	1921	99			白寿		
大正9	1920	100			上寿(百寿・紀寿)		八方(八白土星)
大正6	1917	103					星厄(二黒土星)
大正4	1915	105					星厄(四緑木星)
大正3	1914	106					星厄(五黄土星)
明治45・大正元	1912	108			茶寿		
明治44	1911	109	年男	年女			

## 【年齢について】

表中の年齢は、いずれも「数え年」です。現在世間一般で日常的に使われている「満年齢」とは異なりますので、御注意下さい。

数え年は、生まれた年を1歳とし、以降、正月を迎える毎に1歳ずつ加算していきます。具体的には、その年の誕生日を既に迎えている場合は満年齢に1を、その年の誕生日をまだ迎えていない場合は満年齢に2を加算すると、その方の数え年になります。

## 【厄年について】

厄年は、古来より**男性は25・42・61歳、女性は19・33・37歳が「本厄」とされており、それら本厄の中でも特に、男性の42歳と女性の33歳は「大厄」とされています。**

また、本厄の前年の歳は「前厄」、本厄の翌年の歳は「後厄」といいます。

但し、何年生まれ(数え年の何歳)を厄年とするかについては、地域や社寺によって若干の差異があります。左の表はあくまでも西野神社に於ける一覧表であり、他所の社寺や団体等が作成している一覧表とは、内容が一部異なる場合もあります。

## 【人生儀礼・年祝について】

「初宮詣」は、男児は生後31日目、女児は生後33日目、もしくは、性別に関係無く生後100日前後に、祝いを着てお参りをするのが一般的とされています。

しかし、赤ちゃんの身体はまだ抵抗力が弱いので、あまり日数に拘らず、赤ちゃんの体調が良い日、暖かい日や天気の良い日などを選んでお参りされると良いでしょう。

「七五三」のお参りは、全国的には、11月15日もしくは11月中に行うのが一般的ですが、北海道は主に気候の関係から全国よりも1ヶ月早く、10月15日もしくは10月中に行うのが一般的です。

七五三のお参りは、本来は数え年の年齢に合わせて行いますが、近年は、満年齢の7・5・3歳に合わせて行う事も増えています。

人生儀礼としては他にも、小学校入学時に行う「入学祝」(就学安全祈願)や、20歳になる年に行う「成人祝」(成人奉告)などがあります。

但し、入学祝と成人祝については、いずれも数え年ではなく年度(学年)が基準となるため、数え年が基準となっているこの表では記載を省略しました。

## 【八方・星厄について】

運勢盤(九星方位吉凶表)で中央に位置する星の年は「八方ふさがり」といわれ、今年は「**八白土星**」の方がその年に該当します。

また、運勢盤で九曜星の巡りが、北東(表鬼門)、南西(裏鬼門)、北の向きに巡った年は星祭厄年(星厄)となり、今年は、「**二黒土星**」(北東)、「**五黄土星**」(南西)、「**四緑木星**」(北)の方がそれぞれ該当します。

但し、いずれの場合も、**元日から2月の節分までの間に生まれた方は、その前年生まれの人と同じ九星になります。**節分は、大抵は2月3日ですが、稀に2月4日の年もあるので、2月3・4日生まれの方は御注意下さい。ちなみに、大正元年以降では、以下の年は2月4日が節分でした。

大正元年(明治45年)、大正3・4・5・8・9・12・13年、昭和2・3・6・7・10・11・14・15・18・19・22・23・26・27・31・35・39・43・47・51・55・59年。